レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和6年2月8日	使用開始日			
登録診療科	血液内科	申請医師	松永一美	化学療法委員会承認年月	年　月
レジメン名	APL204寛解導入療法D群(B群→D群：IDA／Ara-C)				
疾患名	急性前骨髄球性白血病	適応の備考	B群で治療中、APL細胞（芽球＋前骨髄球）≧1,000/μLとなった時追加		
適応分類	寛解導入療法		ベサノイドはCR後の地固め第1コース開始前日まで連日経口投与、B群から合わせて最長60日まで。		
1コース日数	CRまで（最長で 60日間）	総コース数	1　コース	催吐性リスク	day1：中等度、day2：軽度
抗がん剤投与量・投与日	イダマイシン12mg/㎡　day1、シタラビン（キロサイド）100mg/㎡　day1-2				

治療スケジュール　・　投 与 日 程（ 投 与 日 は ● ）　　(day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量		投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	～	～	60
1	側管	グラニセトロン注ﾊﾞｯｸﾞ1mg/50mL	1	本 / body	30 分	●	●																					
	点滴静注																											
2	主ルート	生食500mL	1	本 / body		●	●																					
	精密持続	シタラビン（キロサイド）注	100	mg / ㎡	24 時間	●	●																					
	静注			/																								
3	側管	生食50mL	1	本 / body	5 分	●																						
	点滴静注																											
	プライミング用																											
4	側管	生食100mL	1	本 / body		●																						
	点滴静注	イダマイシン注	12	mg / ㎡	30 分	●																						
		注射用水100mL	1	本 / body		●																						
5	側管	生食50mL	1	本 / body	5 分	●																						
	点滴静注																											
	イダマイシンフラッシュ用																											
6	側管	生食50mL	1	本 / body	5 分			●																				
	点滴静注																											
	シタラビン（キロサイド）フラッシュ用																											
		ベサノイドカプセル10mg	45	mg / ㎡		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	経口投与			/																								
				/																								
	分3　医師の指示通り																											
	B群から合わせて最長60日まで																											

【投与上の注意】

シタラビン（キロサイド）：大量投与時、結膜炎予防ためのステロイド点眼を行う。例えば0.1%フルメトロン点眼、1日3回、両眼、シタラビン投与前日から投与終了の翌日まで。